

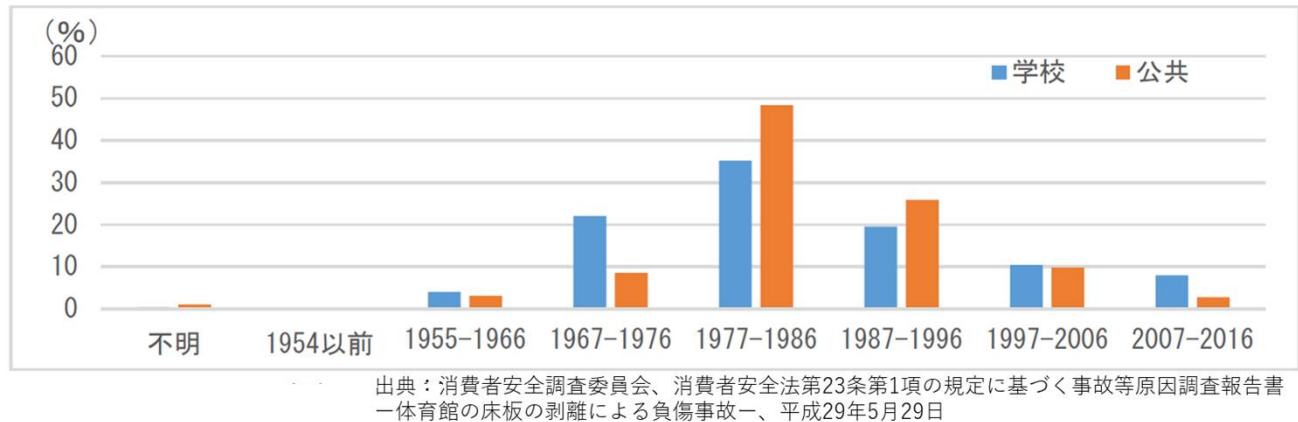
Q1:

既設体育館をFRaTacsで空調化する場合は床下地から改修することになるのですか？

A1:

- 原則として、床下地からの改修が必要ですが、床下高(50cm以上)や床下地の耐用状況によってはフローリングと捨て貼り合板の撤去だけでFRaTacs工事が可能になるケースもあります。現地調査の上、検討させていただきます。
- 全国の学校体育館の竣工年は約80%が30年を超え、約60%は40年を超えています(図表 - A1_1)。また、床下地の耐用年数は20年とみられ(図表 - A1_2)、90%超の学校体育館は床下地を含む床全面取替えの時期が経過しています。
- 床板劣化によるササクレで重大な負傷事故が報告されています。適正な維持管理が最も重要ですが、耐用年数が超過した体育館は安全性確保のために床下地からの改修が必要です。
- FRaTacsは空調設備、床断熱確保及び安全性確保が一括施工で完了しますので、発注の簡素化、工期短縮、高いコスパが実現します。

図表 - A1_1、体育館の竣工年_アンケート調査結果(学校 n = 1,601、公共 n = 641)



図表 - A1_2、体育館の木製床の劣化と改修

